

木育のおはなしを してみよう

木育事例集 3



木育のおはなし

さあ、みんなで考えよう！

木育は「つながり」のキーワード

植物としての木の寿命は長いものでは2000年以上。私たち人間の何十倍も生き、木が伐られてからも同じくらいの時間を木材として生きることができます。木は最初、樹木として森の中で生き、二度目は人と共に生きるのです。このように森に生きる樹木（みどりの木）と日常に根ざす木材（ちゃいろの木）もとはひとつの木でありながら、人の営みや見方がどちらかに偏ってしまうとその「つながり」が見えなくなってしまう。森林と木材はメビウスの輪のように、表裏一体の関係なのです。今の社会は利便性や経済効果のみを追求してきた結果、このバランスが崩れ、自然や生活の環境に大きな問題をかかえています。それは人と人、

人と自然、モノと自然のつながりを希薄にしました。木育は身近な木や森を通して、私たち人間も自然の一部であり多くの生命と共存しながら生きていることを実感する「つながり」のキーワードとなります。

人の心に木を植える

木がゆっくりと時間をかけて育ち、いつかは大樹になるように・・・ひとりひとりの心に芽ばえた木育の種が木に育ち、人がつながれば心の森が大きく広がります。それが緑の森とつながる時、地球は生命の輝きと美しさで満ちるでしょう。私たちが目指す未来は、すべての生き物が共生して生きる持続可能な社会です。100年先を見据えて森林づくりをすすめるように、一人一人の心の中

に木を植え育てる「木育」にも長期的な視点が欠かせません。

毎日使う木の道具や家具をじっくり選んだり、自分で作ったりすることは、それを使う時の楽しみも大きくしてくれます。自然のなかで木は人に何も求めず、いつも私たちに恩恵を与えながら、穏やかな時間のなかで生きています。ですから木で作られたモノは、木が時間をかけてゆっくり成長したように、ゆっくり使っていきたいものです。何世代にもわたって使い続けられてきた木の道具が語る言葉は、人の心に穏やかに届くでしょう。そして、その言葉に共感する人達みんなが木や森や地球のことを話し合えるようになれば、すばらしいと思います。

あれも木育 これも木育

木育に決まったスタイルはありません。それぞれの地域の森林や木材を使って、子どもからお年寄りまでそれぞれが「楽しい。うれしい」と素直に感じられる木育をはじめましょう。それは間接的ですが確実にゆっくりと、木材需要の促進、森林環境の保全、循環型社会の実現などの具体的な目標へ近づいて行くはずです。

私たちの住む北海道は豊かな自然に恵まれ、四季の美しい風景の中で暮らすことの喜びを実感できるすばらしい土地です。幼い頃から地域の木や森と身近にふれあうことは、未来を生きる人たちにとっても大切な心の養分となることでしょう。

KEM工房主宰 煙山泰子

(木育ファミリー代表、北海道森林審議会委員)



表紙写真:左から、森づくりフェスタ2012、第2回いちにち木の日～木育フェスタ、箸置き豆皿、平成24年度木育マイスター育成研修、聖十字幼稚園で木育教室、生物多様性地域連携促進セミナーin北海道、木育フェスタinキトウシ森林公園、木育ひろばinウイングベイ小樽2013、2012弟子屈町木育週間in仁伏、北のグリーンウッドワーク体験会in穂別、大人の木育～カホンづくり、北海道森林スポーツフェスタ2012、昔の道有林

裏表紙写真:左から、赤ちゃん木育広場・木育寺子屋、木のスツール、きぼうのマグネットづくり、グリーンウッドワーク in 札幌、2012 木育・おもちゃの広場、環境広場さっぽろ 2012、根室管内に来たサンタクロース様御一行、ネイバル森で木育教室の準備、木育マイスター、木育フェア in アリオ札幌、木育ひろば in マルヤマクラス、第10回2013メイドインくしろ、道南杉の積み木、木育ひろば in エキチカ、三省堂木育フェスタ

木育のおはなしをしてみよう (木育事例集 3)

001 木育のおはなし ~さあ、みんなで考えよう

004 この本のつかいかた

005 保育所・幼稚園

- ・森町立幼稚園、認定こども園どんぐり(ネイバル森)【渡島】
- ・乙部町立つくし保育園【檜山】
- ・聖十字幼稚園・ちらいおつ遊び塾【空知】
- ・稚内大谷幼稚園・オアシス保育園【宗谷】
- ・むかわ町立さくら保育園【胆振】
- ・雛菊保育園【日高】

011 商業施設

- ・イトーヨーカドーアリオ札幌店(木育フェア in アリオ札幌)【石狩】
- ・三省堂書店札幌店(三省堂木育フェスタ)【石狩】
- ・マルヤマクラス(木育ひろば in マルヤマクラス)【石狩】
- ・サッポロビール博物館(カルチャーナイト)【石狩】、紀伊國屋書店札幌店(木育カフェ)【石狩】
- ・まほろば本店(めんこい会)【石狩】、mother's space ミーナ(赤ちゃん木育広場・木育寺子屋)【石狩】
- ・LIXIL 札幌ショールーム(2012 木育・おもちゃの広場)【石狩】
- ・札幌パークホテル(キッズマイチャレンジフェスタ 2013)【石狩】
- ・札幌駅前通地下歩行空間(木育ひろば in エキチカ)【石狩】
- ・ウイングベイ小樽(木育ひろば in ウイングベイ小樽 2013)【後志】
- ・東武サウスヒルズ、東武イーストモール(木育フェア in TOBU)【オホーツク・根室】
- ・イオン帯広店【十勝】、イオンモール釧路昭和(2012 木育・森づくりパネル展)【釧路】
- ・釧路市観光国際交流センター(2013 メイドインくしろ)【釧路】、
- ・サッポロファクトリー(めざ SO-YA!! てっぺん 2013 in Sapporo)【石狩】

023 木育マスター ~北海道が認定する、木育を普及させる専門家

024 木育フェスタ ~木育マスターによる木育の祭典

025 その他の施設

- ・手稲区民センター・手稲山・富丘西公園(木育ってなに? 森であつめてマリオネットつくりと人形劇 in 手稲山)【石狩】
- ・株式会社ハルキ【渡島】、丸善木材株式会社【釧路】
- ・むかわ町穂別旧和泉小学校(木育カフェ「グリーンウッドワーク in 穂別」)【胆振】
- ・家具工房旅する木(木木会の木育)【石狩】、津別町立津別・活汲・本岐小(津別の木育授業)【オホーツク】
- ・日高振興局【日高】、根室振興局【根室】
- ・弟子屈町林業多目的センター(2012 弟子屈町木育週間 in 仁伏)【釧路】
- ・一般財団法人前田一步園財団(「樹(森)を知り木で遊ぼう in 阿寒湖」)【釧路】
- ・北海道庁旧本庁舎(森づくりフェスタ 2012)【石狩】、定山溪国有林(北海道森林スポーツフェスタ 2012 in 定山溪)【石狩】

033 The price of "MOKUIKU" classrooms

034 北海道庁からのお知らせ

感想をお聞かせ下さい

「木育のお話をしてみよう」をお読みにになった感想を次のアドレスまでお寄せ下さい。今後の編集、紙面作りの参考にさせていただきます。

suirin.rinmoku11f@pref.hokkaido.lg.jp



018

032

Mokuiku の小話



この本のつかいかた

「木育(もくい)」は、平成 17 年に北海道で生まれた言葉です。

木育とは、「子どもをはじめとするすべての人が『木とふれあい、木に学び、木と生きる』取組。子どもの頃から木を身近に使っていくことを通じて、人と、木や森とのかかわりを主体的に考えられる豊かな心を育むこと」。

そのためには、具体的にどのようなことをすれば良いのでしょうか。

この本は、平成 24 年度に北海道内各地で開催された様々な木育の取組を、施設と人に着目して、その具体例をまとめた事例集です。また、活動内容の紹介だけでなく、活動にあたって注意した点や、木育活動としてのねらい、人のかかわり方なども少し盛り込んでいます。

これから木育に取り組んでみようという方には「こんな楽しいことができるんだ」とか、「自分のところと同じようなところで、こんな活動をしているんだ」ということを知っていただけると、経験者の方には「同じように注意すべき点がありそう」、「もっとおもしろい活動になるかも」などと読み取っていただけると、幸いです。

なお、この本は、どこから読みはじめても大丈夫です。

でも、読み終えたら、1 ページ「木育のおはなし～さあ、みんなで考えよう」に戻ってみてください。

木育は「森林散策すること、木工教室をすること、工場見学すること」そのものではなく、それらの取組を通じて「子どもからお年寄りまでそれぞれが「楽しい。うれしい」と素直に感じられる」ことと理解いただけたらと思います。

それでは、各施設の木育の取組を覗いてみましょう。



幼稚園・保育所（005～）

木育の取組をしている幼稚園・保育所などがあります。

森町立森幼稚園、認定こども園どんぐり(ネイパル森)【渡島】、乙部町立つくし保育園【檜山】、
聖十字幼稚園・ちらいおつ遊び塾【空知】、稚内大谷幼稚園・オアシス保育園【宗谷】、
むかわ町立さくら保育園【胆振】、ひかりの国幼稚園【胆振】、雛菊保育園【日高】

商業施設（011～）

イベント会場やコミュニティスペース、会議室などを利用した木育活動です。

トーヨーカードーアリオ札幌店、三省堂書店札幌店、マルヤマクラス、サッポロビール博物館、
紀伊國屋書店札幌店、まほろば本店、mother's space ミーナ、LIXIL 札幌ショールーム、札幌パークホテル、
札幌駅前通地下歩行空間、ウイングベイ小樽、東武イーストモール、東武サウスヒルズ、イオン帯広店、
イオンモール釧路昭和、釧路市観光国際交流センター、サッポロファクトリー

その他の施設（025～）

地方公共団体、各種団体、企業においても木育の活動ができます。

手稲区民センター・手稲山・富丘西公園、株式会社ハルキ、丸善木材株式会社、
むかわ町穂別旧和泉小学校、家具工房旅する木、津別町立津別・活潑・本岐小、日高振興局、
根室振興局、弟子屈町林業多目的センター、(一財)前田一步園財団、北海道庁旧本庁舎、定山溪国有林

木育のおはなしを
してみよう



森町は炭の産地だということ

木製遊具を導入し日頃から木育活動に取り組んでいる森町立森幼稚園と認定こども園どんぐりの園児（七飯町）が「ネイバル森（道立森少年自然の家）」に集まりました。

この日の木育教室のテーマは「木炭」。

なぜ、木炭なのか？それは森町が北海道でも有数の木炭の産地で、駒ヶ岳山麓には炭窯が並んでいるから。

晩秋の晴空の下、子どもたちが野外に出て炭の材料となる松ぼっくりを集める中、大人たちもパン焼き材料の小麦粉をこねたり、炭を焼くために「暖助（廃材を利用した薪ストーブ）」に火を入れたり大忙し。

子どもたちが戻ったら、木育マイスターの扮する「炭親父」が紙芝居で木から炭になるまでのお勉強タイム。そして、拾ってきた松ぼっくりを「暖助」に投入。炭が焼けるのを待つ間、これも拾ってきた松ぼっくりを使って、木育運動会「松ぼっくり玉入れ競争」。体も温まりテンションも上がります。松ぼっくりの炭が焼けたら、棒に材料を巻いて、焼き台で「わくわくパン焼き体験」。そして野外でももむろに食べる。

午後からは屋内で、「木育の玉手箱」で木のお勉強。色や感触、音の違いは感じられたでしょうか。また、木製遊具「Mock（道南杉の積み木）」や「きぼうのボール」、小型の木製遊具も用意、楽しく遊ぶ時間も設けました。

「木を育て、木を使う」という循環性のある取り組みを「楽しさ」の中で理解し記憶していくこと。木の優しさや温もり、森林への理解だけではなく、地域の産業やそれにかかわる「人」を、「木育」を通じて理解していく社会性に富んだ取り組みとして今回の木育教室は形づくられています。



いかに短くわかりやすく伝えていか、読み手のインパクトや、紙芝居への導き方など、工夫する点がたくさんあります。興味を引く小道具を準備することも効果的です。



松ぼっくりの炭が
焼けました！



玉入れも背の高い大人に変えるだけで子どものやる気が変わります。モチベーションの持続には、少しだけハードルを上げること、そして、大人も楽しい姿を見せていくこと。この方、実は報道陣の方です。



感覚、興味は人によって大きく異なります。木育教室でも全員に説明をしたあとに、個別のフォローアップをしていますが、「木育」を伝える上でとても大切な時間になります。



くらしの中に生かされる
木のいろいろ、炭編

- 日時 平成24年11月1日
- 主催 北海道課業総合振興局林務課、東部森林室
- 木育マイスター 鈴木正樹、戸巻朋子、西笠将世

森町立森幼稚園
認定こども園どんぐり

今回の木育マイスターは、
にしのみさとし
西笠将世さん
(大沼ふるさとの森自然学校)



得意分野は「林業に関わる作業」です。保育士の資格も持っています

活動範囲：渡島管内

活動実績：「第1回、第2回木育フェスタ」、「グリーンウッドワーク in 札幌」、「ネイバル森」ほか

生活に密着した海、それにつながる森

檜山管内には木育マスターが不在のため、なかなか民間主体の木育活動は難しかったのですが、乙部町立つくし保育園と、渡島管内七飯町の認定こども園どんぐりの協力を得て、初の木育マスターによる木育教室を実施することができました。

檜山管内は、その「檜山」の名前の由来の一説として「ヒノキアスナロ(アスナロの変種で一般にヒバ)の山」で知られ、松前藩にとってもそれが重要財源であったことから、山の価値を伝え続けてきた土地柄です()。

また、乙部町の国有林には、巨樹・巨木百選にも選ばれた「縁柱(縁結びの柱)もあります。

ただ、つくし保育園は海沿いにあり、周囲に森があるような環境ではありませんでした。そこで、目の前に広がる「海(=檜山管内の主力産業である漁業)」を生かして、木育教室のテーマを「森と海のつながり」にしました。

「森・川・海のつながりが、豊かな自然や生き物たちの育みを生み出していること」を学ぶため、木育マスターが模造紙に描いた絵を用いて、質問を投げかけながら、テンポ良く木育教室が進んでいきます。

さて、学んだあとは実践です。森づくりに対して自分たちができる方法は、どんなことがあるのでしょうか。ここでは「ミズナラを種から育てて、その成長を自分たちで観察すること」を紹介します。そして、頑張った後は、「木に絵を描いてみること」、「木の遊具で遊ぶこと」といった「木での楽しみ」が子どもたちを待っています。

地名の由来は「檜山の地名由来とヒノキアスナロの歴史(平成15年2月北海道檜山支庁)」に詳しく記載されています。



作業には、「それをしたらどうなるのか」のイメージづくりが必要です。例えば、種から植える際には、「生えてきたらどのような苗になるのか」を示すためできるだけ実物を用意しましょう。



報道は「木育」を伝える上でとても大切なイベントであるとともに、取材を受ける方にとっては、まさに大イベントです。一生の記念になるような、楽しさが伝わってくる瞬間にしてみましょう。



種は植えばなしではいけません、育ててこそ愛着がわくものです。それらのフォローアップが可能か、適切な植栽場所があるかを、事前に十分検討しておく必要があります。



遊びは子どもの想像力の広がりや援助することに徹します。もっとも施設の保育方針によって、関わり方は異なります。保育士さんに相談し、おまかせしても良いでしょう。「餅は餅屋」です。

今回の木育マスターは、**とまきともこ 戸巻朋子**さん
(認定こども園どんぐり)



木製遊具の取扱いや、森づくり体験など「木育」活動に取り組んでいます。地域の小さな子どもたちと共に、楽しみながら、木の良さを伝える機会をたくさん持ちたいと思っています。

活動範囲: 渡島・檜山管内
活動実績: 「第2回木育フェスタ」、「つくし保育園」、「ネイバル森」ほか

森・川・海のつながり
豊かな自然と生き物たち

●日時 平成24年10月22日
●主催 北海道檜山振興局林務課
●木育マスター 戸巻朋子

乙部町立
つくし保育園

木育のおはなしを
してみよう



感触、色の変化を楽しみ、その違いを学ぶ

空知管内の聖十字幼稚園(岩見沢市)と、その姉妹園のちらいおつ遊び塾(月形町)で、両園の木育マイスター資格を有する保育士による木育教室が開催されました。不特定多数を対象とした商業施設での木育イベントと比較して、これまでの園での活動経過を踏まえた質の高い木育活動を実施できることが、幼稚園や保育所等での木育の特徴と言えます。

この日は、これまで園で学んできた木とのかかわりを中心に、「きぼうのプール()」や「木育の玉手箱」といった木製品のほか、絵本の読み聞かせや音楽を活用しながら、年齢に合わせた木育教室を進めていきました。

木工作では「きぼう」を紙やすりで磨いた後に、自分たちで割ったクルミから取った油を塗っていきます(パーニングペンは扱いにくいため今回はパスしました)。木に油を塗り込んでいくことで、色や質感が変わっていく過程を楽しむことができます。また、2 つ作った「きぼう」のうち、1 つはマグネットにして持ち帰るので、それを家に帰って使い続けることで、継続的な木とのふれあいを感じることができます。

「きぼうのプール」:北海道産の「カラマツ」や「トドマツ」を使った直径 2cm、長さ 7.5~10cm「木の棒=きぼう」(KEM 工房(煙山泰子 デザイン)の「KI・BO(きぼう)」を活用、留辺薬木工(株)が製作)にパーニングペンなどでメッセージを書き「全道各地に伝えてみよう」という「木育」の取り組み。「きぼうのプール」の木枠は、ようてい森林組合のログハウス部材の一部を使って製作。詳しくは P32 をご覧ください。



木製玩具で遊ぶ前に、「木のちがいを」を少しでも学ぶ時間を取ることで、遊びにおける気づきに違いが出ます。これがないと、「木のプール」も「塩のプール」も同じになりかねません。

「さわる」という言葉は、「手でさわる」と思いがちですが、別にどこで触ったって良いのです。磨いて、クルミ油を塗った木のなめらかさを手だけで感じるのは、本当にもったいない。



クリスマスに読む絵本があるように、木育教室で読む絵本があります。この日の絵本は「ちいさな木」。赤ちゃんの木がたくさん、お母さんの木はどこだろう。「おかあさんといっしょ」でしょ。

幼稚園、保育園には、これまで学んできた様々な教材があります。木育教室においては、これら身近なものとの関係を触れていくことで、その効果を高めることができます。



木のおもちやと
自分で作る木の感触

- 日時 平成24年10月17日、19日
- 主催 北海道空知総合振興局林務課
- 木育マイスター 會田めぐみ、河岸さおり

聖十字幼稚園 ちらいおつ遊び塾

今回の木育マイスターは、
かわぎし
河岸さおりさん
(ちらいおつ遊び塾)



「ちらいおつ遊び塾」で、自然を肌で感じ、その中で伸び伸びと過ごすこと、さらに木育、食育、手育、動物の飼育の四育を通して、子ども達の好奇心、感受性を養う活動を実践しています。

活動範囲:空知管内
活動実績:「ネットワークの集い2011」、「コーさっぽろ岩見沢東店」、「ちらいおつ遊び塾」

身近なモノから、木の生長を学ぶ

木育活動への協力を稚内大谷幼稚園・オアシス保育園に打診したところ、同園から「樹木が生長して木材になる過程を学びたい、木材を使った大工体験がしたい」という希望テーマが寄せられました。

園では、平成23年度に設置型サークル遊具「木とあそび」を購入するなど、園児たちが普段から身近に木製品を体験していることや、これまでも釘打ちの実施経験があることなど、木材についての認識は高いことが想定されました。そのため今回は、木育マスターがそのレベルに合わせた「木育のプログラム」や、紙芝居「りんごのたねが木になるまで」を作成、宗谷振興局がげんのうや釘のほか、地元の製材工場からトドマツの製材を購入し、ケガの防止のためベルトサンダーを使って予め製材を面取りしておくなど、それぞれ入念な準備をして木育教室に臨みました。

子どもたちは、2つの紙芝居により「種から木、丸太から製材」への過程を学び、今度は自分の手によって製材を製品にする体験をします。こういった一連の流れを通して木について学んでいくことが、従来の木工にとどまらない「木育」の取組になります。よく「木育教室」と「木工教室」の違いは何なのかと問われますが、「木工を通じて森林や林業、果ては地域の文化や、そこに住む人とのつながりといったものを感じさせることができるか否か」の問題に行きつくことができます。

「木育」は、真剣に取り組むほど、その準備が本当に大変なのですが、その成果は大変さに比例して大きくなります。今後も、より人の興味を引きつけるような、機微に触れる取組に期待していきたいと思います。



いつもとは違うホールの雰囲気子どもたちの期待を高めます。そのためにも、事前のセッティングはとても大切です。施設の方と力を合わせて、頑張って準備しましょう。

森林・木材と木製遊具との関係と同じように、1つのリンゴの種が、園庭に植えられている木になるまでの成長を紹介するのは、身近な素材を生かした、わかりやすい取組になります。



小学校低学年以下の子どもにとって、のこぎりは扱いの難しい道具ですが、材の樹種や厚さ、道具、救急対応、施設側の体制によっては、大人が適切に補助することで扱うことができます。

子どもたちとの会話の中で、生まれた「気づき」の体験を、うまく「拾って」あげられるような、心理的余裕があると、より一層楽しい活動になります。



今回の木育マスターは、**しだあやの 信太亜耶野**さん
(そうや自然学校)



道北の町・中頓別町にあるそうや自然学校で、木工を通じたものづくりや森遊びなどを通じて、木育活動を行っています

活動範囲: 宗谷管内
活動実績: 「そうや自然学校」、「森づくりフェスタ2012」、「稚内大谷幼稚園・オアシス保育園」

木育マスターと一緒に
木の生長を学ぼう!

- 日時 平成24年12月17日
- 主催 北海道宗谷振興局林務課・森林室
- 木育マスター 信太亜耶野



稚内大谷幼稚園
オアシス保育園



冬の森で、五感を使った体感遊び

むかわ町は、道内でも有数の林業の盛んな地域であるとともに、町内の旧和泉小学校を木育ファミリーに貸し出し、グリーンウッドワークの拠点として活動をバックアップする(詳しくはP27)など、木育にも積極的に取り組んでいます。

ここでは町内に住む3人の木育マイスターによる、さくら保育園での木育教室をご紹介します。木育教室に先立ち、園には、きぼうのプールなどの木製遊具が届けられました。

木育教室は、かえるさんたちの冒険絵本「ゆきやまたんけん」の読み聞かせで、冬の森への好奇心をくすぐることから始まります(対象は年長クラス14名)。その後、「むかわ町穂別地球体験館」裏手の森へ移動。この日は全道的に大雪。このむかわ町穂別地区も、吹雪と朝から降った15センチ程の雪で、園児達だけでなく、大人にとっても冒険といったらよいほど楽しいコンディションになりました。

歩きながら空を見上げる園児「あっ、なんか飛んでった～あ」、それに答える木育マイスター。こんなやりとりを繰り返しながら歩く。疲れを知らない園児達、どンドン歩いて少し高台にさしかかります。木育マイスターに耳をすまして「ざんと言われ、耳をすます。「なんか聞こえる～。」「除雪車の音だ。」ガク～。「メルヘンチックじゃないの！」。

さらに数分歩くと、斜面をロープで登ることとなった。ゆっくり歩いて斜面の上に到着。木育マイスターに促されるまま、園児達は、雪を掘る。そして、そこにあったものは、なんと「鹿のフン」だった。園児の「鹿のフンだ～」、「鹿のうんこ～」の声が山に響き渡る。みんなで大笑い。途中で「モモンガの巣」も発見、みんなで順番に穴をのぞいてみました。

「雪の中で寝ころんだり」、「耳をすましたり」、「色々なものにふれたり」、普段意識しないと気付かない何かを、子どもたちは(引率する大人も)、五感を使って感じました。



「ゆきやまたんけん」に入る準備です。木々があることや、高低差も考えて、ヘルメットを装着してから出発です。本格アイテム装着で、子どもたちの探検気分も盛り上がります。



きぼうのプールに園児が「きぼう」を投入。前もって大人が準備しておくのも良いですが、自分たちで入れていくのも結構楽しいです。



木育マイスター(大人)の役割は、物事を伝えるのではなく、会話をしながら、子どもたちの考えや新たな興味を、次々と引き出していくことにあります。

子どもは、それぞれが自ら行動し、遊びをみつけていくところから始まり、やがて、みんなで集まって何かを始めます。森の中にはそんな素敵な場所がたくさんあります。



- 日時 平成25年2月21日
- 主催 北海道胆振総合振興局林務課
- 木育マイスター 日月伸、大石拓人、竹津美智子

むかわ町立
さくら保育園

今回の木育マイスターは、
おおいしたくと
大石拓人さん
(むかわ町交流人口推進特別協議会)



むかわ町の交流人口の促進のための仕事をしています。子どもたちの好奇心を惹きつけながら、四季のうつろいを伝えられるような木育企画ができればと思っています。

活動範囲:胆振管内
活動実績:「グリーンウッドワーク in 穂別」、「さくら保育園」ほか

木を感じる方法論

札幌市のコンサルタント会社、株式会社ドーコンに在籍する2名の木育マスターは初年度から積極的な活動を続けていますが、特に木育マスターが不在となっている日高管内には、毎年数回出張して木育活動を実施するなど、当管内にとっても無くてはならない人材です。

さて、今回の活動先は浦河町の雛菊保育園。

毎回新企画を取り入れ、大人まで楽しませてくれる「TEAMドーコン」ですが、平成23年度に自費購入した移動式ペレットストーブ「きりん君」が今回も登場したほか、現場から調達したであろう丸太も登場（ちゃんと子どもが持てるギリギリのサイズに切っており、ところがミソ）。子どもたちの多くは、生えている木は普段から目にしていますが、実際に持ってその重さを体感することは稀（というか、大人でも稀）。年輪という数を数えること以上に、その「重み」が肌で感じられそうです。

おがこアートとは、おが粉も台座となる丸太の輪切りも浦河町内産を用意。子どもたちが、それを使って思い思いの作品を作っていきます。作品が完成した頃、ペレットストーブで焼いていたイモも焼き上がり、みんなで楽しく食べることができました。

木育活動では、受け手のライフステージに応じて、生活の中で役立つ木の活用方法を伝えていきます。今回はその伝える手段として、木の重さや年輪の数、木質ペレットによる火の熱さ、木製遊具「きぼうのプール」の感触、ペレットストーブで焼いたイモの味、木やおが粉の色、そして木育マスターの巧みな話術を選んでいきます。受け手の感覚に対して、最も効果的な方法を探ること、これが木育活動にとってとても大切なスキルになります。



「TEAMドーコン」の木育教室の導入は「木のクイズ」。身のまわりのモノの写真を見せて、それが「木で作られたものかどうか？」。ここでは最終的に木製遊具につなげていきます。

「木のクイズ」は、木の勉強の教材としての意味はもとより、初対面の講師と子どもたちとの抵抗感を無くす「アイスブレーキング」としての役割があります。



ペレットストーブの実演は、木質ペレットを見せて、火をつけるだけではなく、時間がかかるとしても、子ども1人1人がペレットを自分でくべていくことで教材としての価値が高まります。

おがこアートは、木のコースターにマジックで絵を描くことと比べて、スタッフの負担がとて大きくなりますが、画材にも木を使うということでその意味が異なります。但し、その説明が大切になります。



今回の木育マスターは、
さくらいよしふみ
櫻井善文さん
(株式会社ドーコン)



動植物や生物多様性にかかわる分野でがんばっています。お気軽にご相談ください！
活動範囲：道内全域
活動実績：「浦河フレンドようちえん」、「エコ育広場」、「キッズマイチャレンジフェスタ」、「木育フェア in アリオ札幌2012」、「サッポロビール」、「森づくりフェスタ2012」、「マルヤマクラス」、「雛菊保育園」ほか

木が使われているもの
こんな使い方もあるよ！

- 日時 平成24年11月20日
- 主催 北海道白高振興局林務課
- 木育マスター 櫻井善文、中村裕



雛菊保育園



子どもから大人まで、幅広く木育を伝える

北海道と(株)セブン-イレブン・ジャパン及び(株)イトーヨーカ堂は、暮らしの安全・安心や道産品の販路拡大、観光の振興等について協働事業を実施し、北海道の活性化を図ることを目的として、平成20年7月24日、連携と協力に関する協定を締結(包括連携協定)。このことをきっかけとして、平成23年度から札幌市東区のイトーヨーカドーアリオ札幌店で、「木育フェア in アリオ札幌」を開催しています。

平成24年度は「第1弾 木のおもちゃや家具など木製品の販売」、「第2弾 木育ひろば in アリオ札幌」、「第3弾 木育教室 in アリオ札幌」の3回に分けて開催。各回とも多くの方でにぎわい、特に第2弾は3日間で3千人を超える方の来場を頂きました。

「木育フェア in アリオ札幌」の特徴は、その活動の幅の広さです。乳幼児には木のおもちゃで遊ぶ「木育ひろば」、幼児・小学生には「おが粉で絵を描こう」や「木育教室」、大人には地材地産品やペレットストーブの展示、木のおもちゃや家具、食器、販売など、来店する顧客のライフステージに合わせた木育活動を実施しています。

アリオ札幌

北海道札幌市東区北7条東9-2-20



札幌・苗穂にある110を超えるファッション&グルメの専門店「アリオモール」と「イトーヨーカドーアリオ札幌店」からなるショッピングセンター。木育以外にも「土産産品フェア」や、各総合振興局と連携した催し物などを開催。



木製品は製作に手間がかかります。「木育」としては、なぜ手間がかかるのかをしっかりと伝えていくことが大切です。そのこと自体が、製品の付加価値を生むことにもなります。

大人からの質問は、これまでの経験を踏まえた想いの発現です。商業施設でのイベントは、そうしたシーズを直接拾い上げていくことができる場所として、とても価値があります。



木育教室の話の展開で使えるのであれば、「芽森氏」も積極的に活用しましょう。どつかれたらどつきかえせば良いのです。彼は「木育」のためならその痛さをきっと忘れられます。

商業施設の体験イベントでは、大混雑することがあります。イスは子ども優先を促しつつ、作業においても保護者の力を借りられるよう気を配ると、流れを維持しやすくなります。



本事業は、北海道と(株)イトーヨーカ堂との包括連携による協働事業です。

「木育フェア in アリオ札幌」は2年目を迎えました。

- 日時 平成24年6月27日～7月2日(第1弾)
平成24年7月13日～15日(第2弾)
平成24年8月4日～5日(第3弾)
- 主催 イトーヨーカドーアリオ札幌店
- 木育マスター 櫻井善文、畠山拓也(第3弾)



イトーヨーカドー アリオ札幌店

今回の木育マスターは、
はたけやまたくや
畠山拓也さん
(株式会社セ・プラン)



木育の分野でのファシリテーターとして活動したいと考えています。

活動範囲: 道内全域

活動実績: 「木育フェア in アリオ札幌 2012」、「新ひだか町(三石)で木育教室」

ふと、絵本が読みたくなる空間づくり

北海道と株式会社三省堂書店は、北海道の活性化に向けて、北海道の魅力発信や地域の文化・人づくり、活力ある地域づくり等について協働事業を実施し、相互に連携・協力しながら事業に取り組むことを目的として平成24年6月8日、包括連携協定を締結しました。この取組の一環として、三省堂書店札幌店では「三省堂木育フェスタ」を平成24年7月から8月にかけて開催し、木育の絵本のコーナーや、道南杉の積み木で遊べるコーナー、木製家具を展示するイベントを実施しました。

なんとと言っても今回のポイントは、設計事務所を営む木育マイスターと、製材工場所属の木育マイスターによるコラボ企画「会場中央に位置する柱を、道南杉で囲ってしまう木育フェスタ会場づくり」。そのあまりの完成度の高さに、イベント終了後もそのままに利用されています(右写真)。

イベント最終日には、2人の木育マイスターによる「木育教室」を実施。紙芝居の読み聞かせや、「木のマグネットづくり(トドマツ、カラマツ、ミズナラと色と形の違いがわかりやすい樹種を用意)」で楽しんで頂きました。

三省堂書店札幌店

北海道札幌市中央区北5条西2丁目5



JR 札幌駅に直結する、JRタワー札幌ステラボレイス5Fにある大型書店。一般書から専門書、文具コーナーのほか、店内各所に椅子の設置しカフェも出店している。



会場スペースの関係から、紙芝居の場所を積み木の場所と共用しました。座る場所全体が木に囲まれた形になりますし、おすすめです。



書店は基本的に静かな場所なので、子どもたちも自分のペースでゆっくりと遊ぶことができます。



木のマグネットづくりでは、木の種類とその簡単な特徴を明示しておくことで、単なる「材料」としての木から、木そのものの認識につなげていくことができます。

商業施設ではイベント経験が豊富な方が多いので、その協力を得ることで、設営から、当日の集客や誘導の他、緊急時の対応などにおいてスムーズに進めることができます。



本事業は、北海道と(株)三省堂書店との包括連携による協働事業です。

今回の木育マイスターは、
ふくしまたかし
福島 敬 さん
(北スタイル株式会社)



北海道の良いもの(物・者)づくりに協力していきたいと思えます。
一級建築士。

活動範囲:石狩管内

活動実績:「エコ育広場2012」、「三省堂書店札幌店」、「木育でつなげる北海道木造住宅の会」

「木育」コーナーと
積み木の遊び場を作りました

- 日時 平成24年7月19日～8月19日(フェスタ)
平成24年8月18日～19日(木育教室)
- 主催 三省堂書店札幌店
- 木育マイスター 福島敬、鈴木正樹、鈴木憲太郎

三省堂書店
札幌店



木育のおはなしを
してみよう



「木育との出会い」や「木のある生活」

9月末の1本の電話からスタートしたイベントです。マルヤマクラスで実施する「マルヤマ文化祭」に合わせた木育企画を作ることとなり、その初日から2日間「木育ひろば in マルヤマクラス」を開催する運びとなりました。

木育教室では、ちょうど紅葉の季節だったこともあり、円山周辺の落ち葉を活用した「マルヤマを彩る葉ートのしおりづくり」と、道産材を使った「桜と黄肌のマイ箸工房」を用意、「きぼうのプールづくり」と合わせて3種類を、会場やスタッフ関係から3回のローテーションで実施しました。

「しおりづくり」は円山にあるカツラの巨木を意識したものに加えて、春ごろから採取し続けてきた押し花なども多彩に用意、それらを説明した写真冊子も配布しました。

木育ひろばには、「きぼうのプール」と「道南杉の積み木」のほか、今回初めて「カホン」と「木琴」も置いてみました。会場はコンパクトですが、新企画を含めもりだくさんの楽しい内容になったかと思います。

マルヤマクラス

北海道札幌市中央区南1条西27丁目1-1



ダイエー札幌円山店を中核とした、約80店舗で構成される札幌市円山のショッピングセンター。毎年10月～11月に、円山動物園のパネル展や、各種文化行事を店内で開催している。



木工作は、完成品のサンプルを用意して入り口ほか数カ所に置いたり、スタッフが常に作っている雰囲気を出すと人が集まりやすくなります。

音の出るものは、年齢層に関わらず一緒に楽しむことができます。イベント会場でもしるい音が鳴っていると、まわりの人の興味を引きつけることもできます。



いっしょにカホンを叩いてみよう！



しおりづくりは、整頓して使いやすいようにする(整理するための道具も用意)することで、参加者も取り組みやすい工夫を施しました。

箸づくりは、木工作の中では人気のイベントですが、ほぼスタッフと参加者マンツーマンの作業になりますので、休憩など時間配分に注意が必要です。



豊かな自然と歴史ある円山地域の特色を生かした木育活動

- 日時 平成24年10月27日～28日
- 主催 マルヤマクラス、北海道(共催)
- 後援 北海道森林管理局
- 木育マスター 中村祐、榎井善文、高橋秀明

今回の木育マスターは、**たかはしひであき 高橋秀明**さん
(北海道森林管理局)



森林・林業・木材から地域が元気になるような未来に向けた可能性のために自分にできることから行っています。森林インストラクター、北海道アウトドアガイド(自然ガイド)。

活動範囲:石狩管内
活動実績:「木育ひろば in マルヤマクラス」、「グリーンウッドワーク in 札幌」ほか



マルヤマクラス

カルチャーナイトで木育

サッポロビール(株)では、包括連携協定を締結する北海道の仲介で、木育マイスターによるカルチャーナイト「オリジナルコースターづくり」と「コースターホルダー」づくりを開催しました。「コースターづくりでは、紙製のコースターの上に、押し花をアレンジし、セルフラミネートで封入します。「コースターホルダーづくり」では、予めスリットや形を整えた木切れをえらび、サンドペーパーでクリーニング着色していきます。

今回の木育マイスターは、
なかむらひろし
中村 裕 さん
(株式会社ドーコン)



子どもたちが自然と触れ合う活動を企画したい方や、身近な樹木のことを知りたい方は、お気軽にご相談ください。
活動範囲：道内全域
活動実績：「木育フェア in アリオ札幌 2011」、「夢の国幼稚園」、「浦河フレンドようちえん」、「キッズマイチャレンジフェスタ 2012」、「マルヤマクラス」、「雛菊保育園ほか



材料はサッポロビール博物館からの要望で、木材産地証明のついた道南杉の間伐材を使用しました。



120年前の
レンガに囲まれて



- 日時 平成24年7月13日
- 主催 サッポロビール博物館
- 木育マイスター 中村裕、櫻井書文

サッポロビール博物館

サッポロビール博物館

北海道札幌市東区北7条東9丁目



日本で唯一のビールに関する博物館。建物は、札幌製糖会社の工場として明治23年に建設、明治38年には札幌麦酒の製麦所に改修。旧北海道庁とともに明治の面影を残す数少ない貴重な文化遺産

親子で手作りする木の器

木育マイスター研修の講師でもある西川さんの新刊「手づくりする木の器」で作品を取材したことをきっかけに、木工作家・片岡祥光さんの指導による、カエデやニレなどの道産材を使った「箸置き豆皿」をつくるワークショップを、紀伊國屋書店札幌本店で開催。半完成品材料をサンドペーパーで磨いて、クルミ油を塗って仕上げます。梅干しを載せる、塩を盛るなどに使える皿と箸置き機能を兼ね備えた豆皿が完成。



親子で一緒に作ってみること、作った木の器を実際に家庭で使うことに、木育としての意味があります。

今回の講師は、
にしかわたかあき
西川 栄明 さん
(ライター・編集者)



椅子や家具のほか、森林から伝統工芸に至るまで、木に関することを主なテーマとして執筆。著書に「手づくりする木のツール」、「日本の森と木の職人」、「手づくりの木の道具 木のおもちゃ」など。「木育の本」も手がけた。平成22年度から木育マイスター研修の講師も務め、「木と生きる～暮らしと産業～」を担当

誠文堂新光社

東京都文京区本郷3丁目3-117



明治45年創業の出版社。平成24年で創業100年を迎えた。雑誌「子供の科学」「M」無線と実験、「農耕と園芸」などは、創刊以来80数年の誌歴史を有する。理工学、人文科学、農園芸、デザイン、ペットなどの分野のほか、「木材大事典 170種」、「手づくりする木の」シリーズなど、木に関係する出版物も数多く手掛ける。

親子のワークショップ
手づくりする木の器



- 日時 平成24年9月2日
- 主催 誠文堂新光社
- 講師 片岡祥光、西川栄明

紀伊國屋書店 札幌本店

木育のおはなしを
してみよう



ベビーマッサージに木育を取り入れました

木育マイスターの七戸さんはベビーマッサージの専門家。木育マイスターの資格取得をきっかけに、ベビーマッサージなどを開催してきた「めんこい会（札幌市西区にある自然食品店 まほろば本店で実施）」の中で、木育の説明や木のおもちゃで遊び、音色や感触、を楽しむ活動をしています。赤ちゃんは自然に、おもちゃを握って、その感触をいろいろ確かめるように過ごします。



乳児が、木のおもちゃをどう使うかを見ていると、不思議な感覚を持たされます。

今回の講師は、
しちのへちえ
七戸千絵さん
((株)セントモニカ)



薬剤師、ベビーマッサージやアロマセラピーインストラクターの資格を持ち、自然の香りやタッチケアで赤ちゃん妊婦、障がい、介護など生活スタイルへの提案をしています。

活動範囲：札幌近郊
活動実績：「めんこい会」

セントモニカ 円山本店

北海道札幌市中央区南3条西26丁目2-23 もみの木S0 2階



床から天井まで木で作られた店舗では、北海道の白樺樹液を配合した自社開発の天然馬油クリームをはじめ、KEM 工房や津別の木のおもちゃなどを取り扱っています。ベビーマッサージ講座や、モミヤ杉の精油を使用した香育講座も実施しています。
<http://stmonica.info>

目の触れあい
木とのふれあい

●日時 平成24年6月16日、9月11日、平成25年3月23日
●主催 株式会社 セントモニカ
●木育マイスター 七戸千絵



まほろば本店

木を通じた、子育ての交流スペース

木育マイスターの菊地さんは、自宅を交流スペースとして「赤ちゃん木育広場・木育寺子屋」を年間数回開催しています。おもちゃコンサルタントマスターでもある菊地さんが、「木育」についてお話や、オススメの木のおもちゃを紹介したり、実際に子どもたちと一緒に自由に遊んだり、参加した子どもたちやお母さんは、木の音と香りに包まれてゆったりとした「木育」の時間を楽しんでいました。



子どもが遊ぶだけではなく、おやつタイムもあります。ハーブティーとともにほっこり幸せになれます。

同じ遊具でも、成長により遊び方が上手になっていくのがわかります。



子育てを始める宝物たちを、
ともに見つけ、楽しみ、育んでゆくため

●日時 平成24年5月30日、6月27日ほか
●主催 mother's space ミーナ
●木育マイスター 菊地三奈

mother's space ミーナ
北海道札幌市西区琴似



「ミーナ」はスペイン語で「山の山」。菊地三奈さんが代表を務め、ハート&アートをテーマに託児・イベント・託児付ヨガ教室の運営・自宅サロンでおもちゃ講座などを通して子育て中の宝探しを応援しています。
<http://happymina.com/>



mother's space
ミーナ

木育はつながりのキーワード

mother's space ミーナでは、おもちゃコンサルタントマスターで主宰の菊地さんを中心として、これまでも「おもちゃの広場」や「HAPPY マーケット」などのイベントを主催してきましたが、平成 24 年度からは木育関係の出展をより増やして活動を続けています。

8月1日に開催された「2012木育・おもちゃの広場」には、木育関係として、北海道の木育パネル展示と道南杉の積み木のコーナーや、木の店AU・AUによる木工作（&おもちゃ販売）のコーナー、北海道子育て支援ワーカーズの木の砂場や、北海道グッド・トイ委員会の木育おもちゃコーナーが開設されたほか、スタジオノート、KEM 工房、旅する木による木のおもちゃやツール販売などが行われました。

「HAPPY マーケット」では、子育て中の母親を対象とした、ボディケアやセラピーといった店舗が並びます。

イベントに「木育」を冠することで、より多くの方に「木育」の言葉や意識を伝えていく機会となり、また、様々な業種との関わりにより、「木育はつながりのキーワード」として1つのモデルケースとなることが期待できる取組です。



LIXIL 札幌ショールーム

北海道札幌市東区北 8 条東 10 丁目 1



サッポロガーデンパーク(アリオ札幌やサッポロビール博物館など)の向かい側にある、住宅機器のショールームです。会場内の多目的スペースのほか、HAPPY マーケットでは、ほぼ全館貸し切りでイベントを行っています。



小樽のおもちゃ屋さん「キングダリープ」さんも出展し、KAPRA などのおもちゃも自由に遊べます。販売もしています。

小樽市銭函の「木の店 AUAU」さんによる、木工教室とおもちゃ・クラフトの販売。ショールームという空間を生かしてアットホームな感じがおもしろいですね。



手回しオルガンのコンサートです、シャボン玉も出てきたり、いろいろな要素が詰まっています。それ以外にも大混雑、8月1日の入場者は千名を超えたようです。

このイベントは、各店工夫された飲食が充実しているのが特徴です。別室に机や椅子も用意されているので、昼食を取ったり、休憩したりすることができます。



今回の木育マスターは、
きくちみな
菊地三奈さん
(mother's space ミーナ)



子育て支援活動をしているおもちゃコンサルタントです。木育おもちゃを使って親子で遊んだり、木のおもちゃの良さをママに伝えています。

活動範囲：札幌近郊(道内全域)
活動実績：「赤ちゃん木育ひろば・木育寺子屋」、「双葉保育園」、「木育・おもちゃの広場」、「おもちゃのひろば & 木育フェスタ」ほか

LIXIL全館が
HAPPYな空間になります

LIXIL
Link to Good Living

- 日時 平成24年8月1日、(10月31日、12月12日)
- 主催 mother's space ミーナ
- 後援 認定NPO法人日本グッド・トイ委員会、北海道北海道グッド・トイ委員会、札幌市教育委員会、札幌市子ども未来局、エミナ、木育ファミリーほか
- 木育マスター 菊地三奈

LIXIL 札幌
ショールーム

木育のおはなしを
してみよう



さまざまな「育」に着目したイベント

「キッズマイチャレンジフェスタ」では、「食育」、「知育」など「育」を切り口として、子どもの興味を探し、チャレンジ精神を育み、親子で参加できるイベントを実施しています。平成24年度も札幌パークホテルで開催。「木育」では、小樽市の建築会社(株)トベックスによる木工作やマイ箸づくり、ホイップデコを実施。道による木育ひろばと合わせ、木に触れ工作することを通じて、そのぬくもりや匂いなどを感じて頂きました。



イベント会場のパネル。きれいな色分けとイラストからも、その楽しさが伝わってきます。

「木のプールの木玉+積み木」で、親子でできる新しい遊びを発見しました。



(株)アートピア emina (エミナ) 編集部
北海道札幌市中央区北1条西18丁目



北海道札幌市で「eminaWEB (エミナウェブ)」と、フリーペーパー「emina(エミナ)」を発信。eminaは、アイヌ語でe(あなた)がmina(笑う)という意味。2012年から、キッズマイチャレンジフェスタを開催し、その実行委員会を担っています。

子どもの
可能性を広げる1日

●日時 平成25年2月3日
●主催 キッズマイチャレンジマイフェスタ実行委員会

未来をさがそう!
キッズ
マイチャレンジ
フェスタ

札幌
パークホテル

新たに始まる「森づくりフェスタ2012」のイベント

平成24年度から、「北海道植樹祭」、「北海道のついで育種祭」、「道民森づくりネットワークの集い」などのイベントを、「森づくりフェスタ2012」として一体的に実施することに合わせ、そのイベントとして「木育ひろば in エキチカ」を、その1ヶ月前から毎週土曜日4連続で開催しました。「きぼうのプール」や「カミネッコづくり」のほか、会場のマルチビジョンを使って、初めて木育のスライドを映し出しました。



初のカホンづくりは、大人の参加者(事前申込)でいっぱいになりました。

林業試験場による森の香りコーナーや、地材地消コーナーもあります。



地下でも
木育をやってみよう

●日時 平成24年9月22日、29日、10月6日、13日
●主催 北海道

千・カ・ホ
キタサン HIROBA

札幌駅前通
地下歩行空間

札幌駅前通地下歩行空間
市営地下鉄札幌駅から大通駅間



市営地下鉄札幌駅と大通駅を結ぶ地下歩行空間、2011年3月12日に開通。商業店舗は無いが、通路の両サイドや、北3条交差点及び、北大通交差点の2箇所に広場を有し、イベント会場などに利用されている。